

## 奥州市景気動向調査結果（概要版）

〔実績：平成30年7月～9月期〕  
〔見通し：平成30年10月～12月期〕

「業況DIは、コスト増が足かせとなり3期連続で悪化。

先行きは不透明感が強まり悪化の見通し」

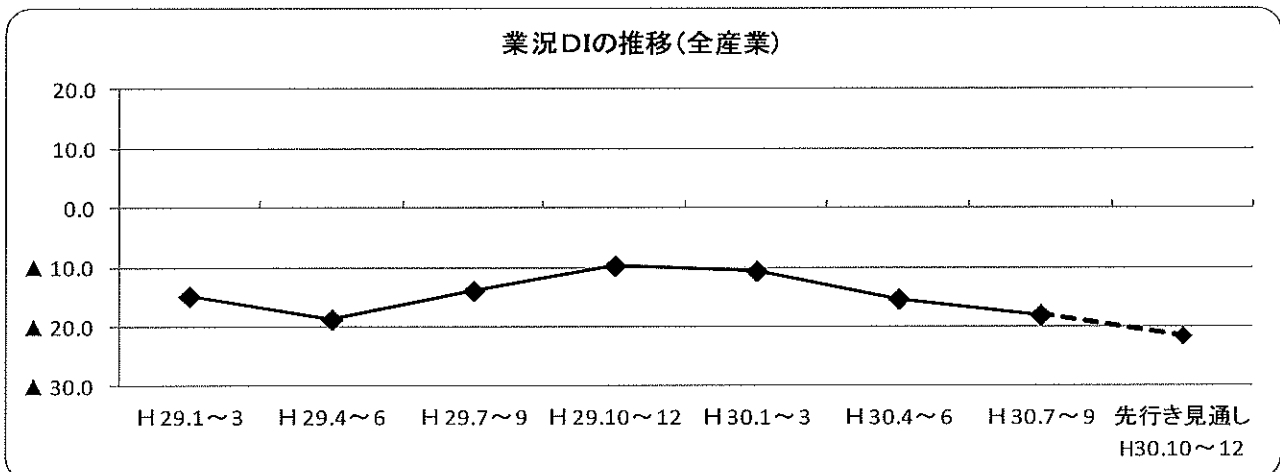
### 【ポイント】

今回調査の全産業の業況DIは、▲18.0と前々回調査より低調に推移しており、H29.10-12月期をピークに下降し続けている。特に人件費・仕入単価の上昇、人手不足による受注の減少などが挙げられた。依然業種間で業況ポイントの幅が大きく開いた状態となっている。

先行き向こう3ヵ月（10月～12月）については、業況DIが▲21.5で悪化の見通しとなった。

※業種別、設問別のDI値一覧表（実績：上段）（見通し：下段）

	業況	売上高	採算	資金繰り	仕入単価	従業員
全産業	▲ 18.0	▲ 16.7	▲ 21.9	▲ 11.0	▲ 52.4	32.1
	▲ 21.5	▲ 25.1	▲ 27.8	▲ 14.7	▲ 52.2	32.5
小売業	▲ 14.0	▲ 16.0	▲ 14.3	▲ 22.0	▲ 44.0	26.7
	▲ 27.1	▲ 41.7	▲ 34.8	▲ 20.8	▲ 47.9	30.2
卸売業	▲ 37.9	▲ 27.6	▲ 31.0	▲ 10.3	▲ 55.2	17.2
	▲ 35.7	▲ 34.5	▲ 39.3	▲ 10.3	▲ 44.8	20.7
製造業	▲ 9.8	▲ 16.0	▲ 21.6	▲ 2.0	▲ 57.1	15.7
	▲ 9.8	▲ 15.7	▲ 17.6	▲ 8.2	▲ 51.0	17.6
建設業	▲ 9.3	▲ 5.4	▲ 14.5	▲ 5.4	▲ 52.7	49.1
	▲ 13.2	▲ 21.8	▲ 25.5	▲ 10.9	▲ 57.4	46.3
サービス業	▲ 25.0	▲ 22.2	▲ 29.2	▲ 14.1	▲ 53.8	40.3
	▲ 26.8	▲ 19.4	▲ 27.8	▲ 19.7	▲ 55.2	38.9



### 〔天候の影響について〕

天候の影響は、全産業で好影響が4.8%、影響なしが62.1%、悪影響が33.3%の回答となった。産業別に見ると小売業で9.1%が好影響、建設業では45.1%が悪影響と答えた。小売業・卸売業・製造業では前回より好影響の割合が増加した。

### 〔設備投資について〕

設備投資は26.1%の事業所で行ったと回答があった。業種別では製造業が30.4%、サービス業が27.5%となった。前回比で見ると卸売業が9.1%増加した。

今後設備投資の予定があると答えた事業所は18.8%であった。産業別では製造業が26.0%、サービス業が22.2%となった。前回比で見ると小売業で予定ありと答えた事業所が9.8%増加した。

### 〔夏季賞与について〕

○夏季賞与を支給した事業所は67.5%となった。産業別で見ると建設業は80.0%、製造業は78.4%が支給したと答えた。サービス業は61.1%、小売業は50.0%に留まった。